

会 議 録

会 議 の 名 称	第3回 宍粟市地域自立支援協議会	
開 催 日 時	平成27年2月27日（金）午後2時30分～午後3時	
開 催 場 所	宍粟市役所北庁舎4階401会議室	
議長（委員長・会長）氏 名	会長 中井 隆	
委 員 氏 名	（出席者）中井隆、山木守男、内海英満、永峰榮次、衣川政明、鷺尾京子、坂口信裕、篠原けい子、中川裕美子、一坪光恵、小倉千佐子、山本隆裕、田中市郎、平野安雄、淵上みや子、中野典子	（欠席者）岸本弥生、春名章宏
事 務 氏 名	健康福祉部 志水次長、一宮保健福祉課 大山、波賀保健福祉課 前田、千種保健福祉課 谷本 高年・障害福祉課 福山課長・砂町副課長・松本係長・上月・吉田	
傍 聴 人 数	0人	
会議の公開・非公開の区分及び非公開の理由	<input checked="" type="checkbox"/> 公開・非公開	（非公開の理由）
決 定 事 項	（議題及び決定事項） 1 開会 2 会長挨拶 3 報告事項 （1）各部会協議事項発表 ①就労部会 ②相談支援部会 ③児童部会 （2）質疑応答 （3）その他 4 閉会	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等	事前配布資料 第4期宍粟市障害福祉計画（最終案） 各部会資料	
議事録の確認（記名押印）	（委員長等） _____ (印)	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
事務局	<p>1. 開会</p> <p>先ほど各部会を行った。 ただいまより、自立支援協議会全体会を行う。 各部会での課題、来年度の取り組みについて、ご協議いただきたい。 現委員さんの任期については、平成 27 年 3 月 31 日までである。 来年度の取り組みについてご確認いただき、内容については、来年度の委員さんでご検討いただきたい。</p>
中井会長	<p>2. 会長挨拶</p>
平野委員	<p>3. 報告事項 (1) 各部会協議事項発表 ①就労部会</p> <p>一般就労への移行ということが将来的な課題である。 当面の課題としては、就労継続支援 B 型事業所の利用者を確保するということがある。 それぞれの課題解決の方法も検討していかなければいけない。 事業所は安定的な経営の基盤を固めた上で、一般就労への移行を考えていく必要がある。 一般就労への移行については計画の中にあるように、受け入れ側の企業の理解が最重要の課題である。今までにもまして、分かりやすく一般企業へ周知していき、企業側に受け入れをしていただきたい。 今後は課題にもあるが、将来展望において、利用者も色々な形で一般就労への移行を考えていく中で、困難な課題もあるが、それぞれの課題を少しずつ、27 年度以降、計画に基づいて取り組んでいこうという話となった。 限られた時間だったので、最終的な意見の集約まではできなかったもので、報告ということにはならないが、経過ということでお伝えする。</p>
事務局	<p>②相談支援部会</p> <p>相談支援部会の部会長が本日欠席のため、代理で松本が報告させていただく。 計画相談の進捗状況等についてお話をさせていただいた。計画相談の事業所については、経営が成り立たないような状況の中で、今回の報酬改定についても見直されていないので、今後どうしていったらよいかということに困っておられる状況であるという話があった。 ほぼ全員の方について、プランが入ったが、利用者の方が、プランについてどのように思われているのかアンケートをとったらいいのではという</p>

	<p>話もでた。</p> <p>セルフプランの内容についても検討させていただいた。</p> <p>自立支援活動について、相談員が当事者交流会についてどういうふうに関わりをもっていったらよいかということについて話し合った。</p> <p>利用者を交流会の場まで連れていくことができない、ということが課題となっている。送迎等があれば利用者が自発的な活動に参加できるのではないか、送迎があっても興味がなければ参加はなかなか難しいのではないかとというような話もでた。</p> <p>虐待についても話しをした。虐待の判断が難しいという話もあった。当事者はどこに相談すればよいのか分からない状況のため、相談支援事業所へ相談に行かれ、市へ連絡が入ってくるケースが多いという話になった。</p> <p>当事者にとって、警察は敷居が高く、行きたくても行けない。</p> <p>今回、障がいについてのアンケートの中で、啓発活動が大切ということがあったので、どのようなことを啓発すればよいのかが今後の課題である。</p>
<p>鷺尾委員</p>	<p>③児童支援部会</p> <p>児童部会から報告させていただく。</p> <p>児童部会では児童支援関連事業における現状と課題について説明があった。発達障がいのニーズ等が増えてきており、人数は増えてきているが、情報が途中で途切れて学校に入ってから分かるとか、学校に入る前の情報が分からないといった話があった。保護者がいつどこへ相談に行ったらよいか、どんなサービスが受けられるのかが分からなくて、サービスになかなかつながらないといった問題もある。</p> <p>保護者については、特別児童扶養手当などメリットがはっきりするものについては手続きされるが、手帳などメリットがはっきり分からないものについては手続きされずに、サービスへつながらないので、保護者への啓発も必要であるという話になった。</p> <p>まずは、保護者が相談をかけやすい学校や民生委員が、どこに相談に行ったらいいのか、どんなサービスがあるのか分かっておかないといけないので、関係者への研修や、分かりやすいパンフレットやリーフレットの配布が必要ではないかという話になった。</p>
<p>中井会長</p>	<p>各部会で協議していただき、短い時間の中で、十分ではないところもあるとは思いますが、各部会に対して、ご意見やご質問はありませんか。</p> <p>就労部会はいかがですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>就労部会については、部会長から報告いただいた通り、一般就労への大きな成果目標として、29年度末までに4人という大きな目標をたてている。先ほどの報告にもあったように、どのような取り組みをしようという前に、それぞれの立場での課題についての報告があり、課題の整理から行った。</p> <p>昨日、障害福祉計画について、山木策定委員長から市長へ報告いただき、</p>

	<p>いよいよ、27年度、28年度、29年度、この3か年において、計画を実行する内容をつめていかなければならないことになっている。</p> <p>本日は新年度を待たずして集まっていただき、色々ご協議いただいたが、来年度、新たな自立支援協議会へつなげていきたいと思う。</p> <p>就労部会については、アンケートの中で、在宅の方の就労希望が非常に多いので、相談に結び付けていき、一般就労や事業所等への利用へ結び付けていけたらという意見もあった。相談については、西播磨障害者就業・生活支援センターから月2回きていただいている。</p> <p>行政としても事業所へ通所する補助のあり方と現状の課題の整理や、市外へ利用者が流れないような、市内でなんとかできるようなことも必要なのではないかという話もでた。</p>
中井会長	<p>相談支援部会に参加したが、事業を続ける上での経費の問題や人員の確保が難しいという話があった。民間への委託の話もあったが、しばらくはこのまま続けるという話になっている。</p>
事務局	<p>現在、直営の相談支援事業所みずばしょうの体制は正規職員1人、臨時職員4人、日々雇用職員2人だが、正規職員、臨時職員の体制については、27年度も同じように行う予定である。</p> <p>今後については、本来なら民間事業所に計画相談をお願いすることが基本となっているため、民間事業所とも話し合いをさせていただくようになる。今のところ民間では、社会福祉協議会で相談支援センターゆめぷらんの2名の相談員が相談を行っている。今後、相談支援事業所みずばしょうを縮小していくことを考えていかないといけませんが、今の段階では縮小はできないので、平成27年度はこのままの状況を継続することとなっている。</p>
中井会長	<p>他に何かありませんか。</p> <p>児童支援部会は、いかがですか。</p>
事務局	<p>先ほど部長から報告があったように、特に発達障がいの子供は年々増加していく中で、なかなかサービスにつながらないケースが見受けられる。その理由としては、保護者の抵抗感があったり、マイナスなイメージを持っていたりということがあつたり、サービスがあるということは知っていても、保護者自身がサービスを使おうとしない、というケースもある。</p> <p>市としては5歳児発達相談や就学前のあらゆる機会を設けて理解を促進していく必要があると思っている。</p> <p>また、サービスがあることすら知らない、どこへ相談にいったらよいか分からない方もいらっしゃると思うので、情報提供していくことが大事である。</p> <p>障がいは個々に応じて、色々なケースがあるため、大まかな周知をすると、受け取った個人が自分のこととしてとらえにくいということがあるので、全体的な周知も必要ではあるが、障がいの子供に絞ったサービスの情</p>

	<p>報提供も考えていく必要がある。関係者が集まって、色々なサービスの窓口などを情報共有していくことも必要であるということで、研修会開催等の提案もあった。新年度以降、これらについて具体的に検討していきたいと思う。</p>
中井会長	<p>他に何かありませんか。</p>
事務局	<p>具体的な提案やそうでないものについても、それぞれの課題解決に向けた27年度の取り組みについて、事務局の方でまとめ、整理をさせていただき、新年度早々に自立支援協議会で提案をさせていただきたい。</p>
事務局	<p>地域自立支援協議会は2年の任期で受けていただいております、この3月で任期が終わる。すでに推薦状をいただいている団体もあるが、できれば引き続きお願いしたいと思っているので、推薦状と承諾書を送らせていただくようになるが、よろしくお願ひしたい。</p> <p>全体会を年度初めの5月か6月、新年度予算前の10月頃、年度末にお集まりいただきたいと思います。</p> <p>全体会の前に、各部会を開き、話をまとめていただき、全体会へ持ち寄っていただきたいと思いますので、度々集まっていただくようになるが、よろしくお願ひしたい。</p>
事務局	<p>事務局からの報告は以上。</p> <p>新年度になり、各部会についても何回もお集まりいただき、それぞれの取り組み等についての課題や、取り組み方針についてご協議いただきたいと思いますので、よろしくお願ひしたい。</p>
山木副会長	<p>4. 閉会</p> <p>新年度はメンバーも変わると思うが、次への引き継ぎ等、それぞれお願ひしたい。</p>

* 発言者の表記は、「〇〇議長」、「〇〇委員」、「事務局」とする。